



ひと咲き まち咲き あまがさき

45万人のまちづくりBOOK



目覚メヨ、
アマリアルチカラ

尼崎市総合計画のキャッチフレーズ「ひと咲き まち咲き あまがさき」は1693件の公募作品の中から選ばれました。さらに、まちづくりを応援する言葉として、左の吹き出しのフレーズが特別賞に選ばれています。尼崎が持つ本当の力、余りある力を引き出し、活かしてまちづくりを進めていきましょう。

尼崎市企画財政局政策部政策課

〒660-8501兵庫県尼崎市東七松町1-23-1
電話06-6489-6138 FAX06-6489-6793

マンガ
4つの物語で
まちの将来像を
お伝えします

メイクが…

ではんだ!
急げ!

わーい
マンガだ!



もし尼崎に暮らす人が 45万人なら…

いま尼崎には45万人が暮らしています。
甲子園球場満員で10個分、なんて言っても
ちょっと多すぎてよく分からないので
「万」を取って45人にたとえてみました。
すると、尼崎で起こっている色んなことが
もう少し身近に感じられるかもしれません。

**働いている人は20人いて、
そのうち半分が市外で
働いています。**

大阪、神戸の2大都市の間「阪神間」という
便利な立地から通勤者の割合が高くなって
います。尼崎市に市外から働きに来る人は
8人います。

「尼崎市統計書(H28年度)」より

**中学生は1人、
小学生は2人、
6才未満の子どもも2人。**

「国勢調査(H27年)」より

**毎年2人が市外へ引っ越して、
2人が新たに尼崎へやってきます。**

「尼崎市統計書(H28年度)」より

**20才以下は8人。
60才以上は15人います。
その間の世代(21~59才)は
22人います。**

子どもの数が減り、お年寄りの割合が高くな
るという現象は日本中で起きています。

「国勢調査(H27年)」より

**市内の製造業で
働く人は3人いて、
一人あたり4,000万円
もの製造品を
出荷しています。**

製造業はその高い生産性で尼崎
の主要産業として多くの人がかか
わっており、出荷額は兵庫県内の
約9%のシェアを占めています。

「尼崎市の工業(H26年)」より

**外国籍の人は
1人います。**

韓国・朝鮮をはじめ、中国、
フィリピン、ベトナムなど多
様な文化を持った人々が
ともに暮らす街です。

「国勢調査(H27年)」より

9人が自家用車を持っています。

自家用車の保有台数は周辺都市よりも少ない傾向に
あります。平坦な地形やバスや公共交通が発達して
いることからクルマがなくても暮らしやすいまちと言えます。

「統計でみるあまがさき(H29年度)」より

**支援や介護が必要な人が
3人います。**

市内には介護保険の要介護・要支援認
定されている人が実際には26,832人
います。

「尼崎市統計書(H28年度)」より

**1年間に231人の
観光客が
訪れています。**

そのうち宿泊客は41人います。
尼崎城の再建をきっかけにして、
観光地域づくりに取り組みます。

「兵庫県観光客動態調査報告書(H27年度)」より

**45人が暮らす尼崎の世帯数は21軒。
夫婦と子どもの世帯は5軒、夫婦二人世帯は4軒。
一人暮らしは9軒で、
そのうちお年寄りの一人暮らしは3軒あります。**

1世帯あたりの人数は平均2.15人で、一人暮らしや二人暮らしが増えてきて
おり、地域のつながりの大切さがあらためて見直されています。

「国勢調査(H27)」より

**21世帯のうち
持ち家は11軒、
借家10軒と、ほぼ
同じくらいの割合です。**

「国勢調査(H27)」より

**多い時には55人いましたが、
2025年には45人から41人に
減るかもしれません。**

昭和40年代のピーク時には55万人を超えて
いた人口は現在45万人。これまでの傾向をも
とに計算すれば2025年には41万人になると
見込まれますが、そのようにならないよう、まちの
魅力を高めています。

「尼崎人口ビジョン(H27)」より

まちのようすを 見てみよう。

ここでは、尼崎の現状や出来事について、「1日あたり」や「一人あたり」などの単位で実際の数を見てみました。
(45人(1/10000)にたとえた数値ではありません。)

1日に10人が生まれ、 13人が亡くなっています。

平成28年の年間出生数は3,826人、死亡数は4,807人。1日あたりに換算すると約10人が生まれ、約13人が亡くなっています。今後は生まれる人より亡くなる人が増えると見込まれています。

「統計でみるあまがさき(H29年度)」より

1日に市民一人が出す 燃やすごみの量は458g。

二人暮らしだと年間約334kgの燃やすごみが出ています。

救急車は1日あたり78回出動しています。

年間の救急車出動回数は28,725回。約18分に1回の頻度で出動していることとなります。適正な利用が求められています。

「H28救急救助統計」より

交通事故は1日6件、 火災は3日に1件 起こっています。

年間交通事故件数はおよそ2,204件、1日あたり約6件。火災発生件数は年間101件。交通安全や防犯、防災への取り組みに力を入れています。

「尼崎市統計書(H28年度)」、
「H28火災統計」より

市民一人に 畳2.7畳分の公園と、 畳2.5畳分の公共施設が あります。

市内には実際には345の都市公園があります。この面積を人口で割ると一人4.5㎡。市民一人あたり公共施設の床面積は4.1㎡。公共施設の保有面積は類似の中核市と比較しても、高い水準にあります。

1年間に使われるお金は、2,045億円。 毎年市民一人あたりに45万円が使われていることとなります。

福祉や教育、学校や公園の整備など市民サービスに使われる一般会計は2,045億円。その他介護保険や国民健康保険などの特別会計をあわせると年間3,124億円にのびります。

H28年度決算より

市税収入は777億円。 その他は国からの支給や借金を してまかっています。

固定資産税や個人市民税、法人市民税などの市税の合計は777億円になります。市民一人あたり年間17万円ほどを払っている計算になります。

H28年度決算より

市民一人あたりの所得は 285万円あります。

一人あたりの市民所得は、お隣の西宮市は317万円、伊丹市は273万円となっています。

「統計でみるあまがさき(H29年度)」より

市民一人あたりの 借金は55万円。 一方、貯金は 3万6千円。

返済が残る一般会計の市債の残高は2,489億円。一方、家庭での貯金にあたる主な基金は164億円。収支改善、行財政改革の取組を進めています。

H28年度決算より

公共施設(建築物)の6割が建築後30年以上経過。 今後45年間で建替えに1兆369億円かかります。

建築後45年の周期で建替えを行った場合の試算では、平成26年から平成70年までの45年間で総額1兆369億円がかかる計算になります。今後、公共施設に係る見直しや計画的な保全による長寿命化などに取り組み、量、質、運営コスト等の最適化を目指します。

「尼崎市公共施設マネジメント基本方針(H26年6月)」より

尼崎市域のおよそ3分の1は工業地でできています。

土地の使われ方について、お隣の西宮市と比べてみました。山がない尼崎市はほぼ全域が市街化されています。また工業系が占める割合が多いのも特徴なのです。

尼崎市



西宮市



尼崎市

	面積(ha)	割合	概算
住居系	2,711	53.5%	54
商業系	274	5.4%	5
工業系	1,685	33.2%	33
その他(河川等)	402	7.9%	8
全市域	5,072	100%	100

西宮市

	面積(ha)	割合	概算
住居系	4,136	41.2%	41
商業系	319	3.2%	3
工業系	770	7.7%	8
その他(山林等)	4,800	47.9%	48
全市域	10,025	100%	100

人口密度は兵庫県でトップです。

1平方キロメートルに約9,000人が暮らしています。西宮市とはほとんど同じくらいの人口ですが、住居系の土地の面積は、 $\frac{2}{3}$ になっています。

「統計してみるあまがさき(H29年度)」より

「これからも尼崎で暮らしたい」と思う人が多くを占めています。

「今後も現在のお住まいの場所に住み続けたいですか?」というアンケートの質問に、8割近くの人が「ずっと住み続けたい」「当分の間は住みたい」「市内で移りたい」と回答しています。

「市民意識調査(H28年度)」より

(参考資料)

尼崎市の現状を少しでも分かりやすくするために、万単位の省略や一人あたりの数値換算などをおこない紙面を構成しました。詳しく知りたい方は次のホームページから各所統計資料を入手することができます。

人口・統計・調査・資料

http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/shisei/sogo_annai/toukei/index.html

国勢調査(尼崎市)

http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/shisei/sogo_annai/toukei/012kokusei.html

市区町別主要統計指標(兵庫県)

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk11/ac08_1_000000003.html

総務省統計局

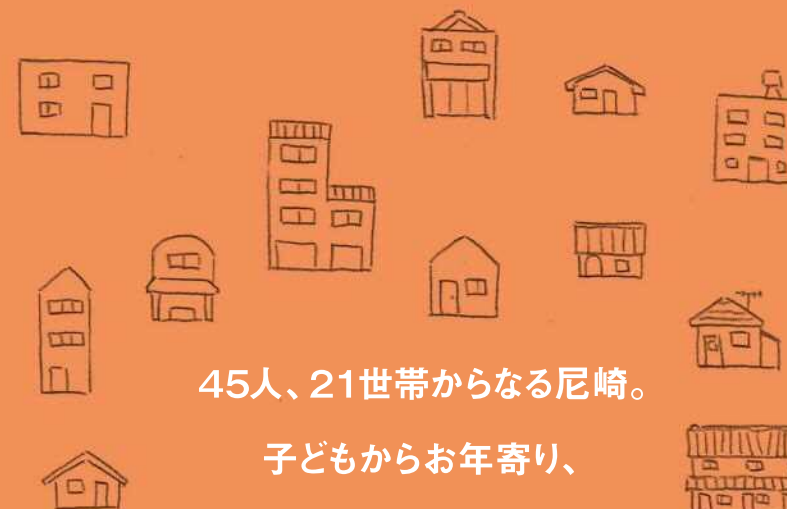
<http://www.stat.go.jp/data/e-census/>

尼崎市の工業

http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/shisei/sogo_annai/toukei/1002173.html

尼崎インダストリー

<http://www.ama-industry.jp/>



45人、21世帯からなる尼崎。

子どもからお年寄り、
一人暮らしから大家族まで、

色んな人や家族が暮らし働くこのまちの顔ぶれをご紹介します。

ひょっとするとあなたによく似た姿が

描かれているかもしれません。



総合計画をつくりました。

尼崎市は平成25年度に、このまちが目指す「これからの10年」の姿を総合計画としてまとめました。その中には、このまちにかかわる様々な人のチカラの大切さが描かれています。この冊子は、その姿をみなさんと共有し、一緒に身近なまちのことを考えるきっかけにしたいと思いつくりました。

次のページからは、尼崎の未来に向かう人々が登場します。

45万人のプロフィール

年齢や性別、立場はそれぞれ違っても暮らす街は一つなんです。

竹谷 梅子 さん (79) ▶P15-26

夫が亡くなって以来一人暮らしですが、いきいき100万歩運動で歩く河川敷では有名な。元気なおばあちゃんなのです。

大島 憲男 さん (66) ▶P17

JR沿線で代々農業を続けてきた憲男さん。10年前から仲間たちと一緒に「尼いも」の復活栽培に取り組んでいます。

大島 芳枝 さん (60) ▶P25

夫と一緒に農業に汗を流すかたわら、地域の活動にも熱心です。最近近所の公園のゴミや風景が気になって…

御園 篤史 さん (63) ▶P18-27

本好きの御園さん。歴史小説が好きでしたが、そんな趣味が高じて最近新しい活動をはじめました。

尾浜 正治 さん (74) ▶P14

地域のお手伝いをしているうちにいつのまにか町内会長に。近所の人の困りごとにごたえる頼れる存在です。

尾浜 泰子 さん (70) ▶P14

町内会長の夫を支える泰子さん。地味だけど地域にとっては必要なお世話役を一手に引き受けています。

武庫 勉 さん (29) ▶P28

IT系企業でバリバリと働く武庫さんは独身。近頃職場と家を往復するだけの毎日に物足りなさを感じているところ。

田能 平左衛門 さん (88) ▶P10-13

江戸時代から続く家に生まれた田能さん。子どもたちは東京暮らしで、一人で暮らしています。

桜木 賢 さん (58) ▶P10

商店街にある酒蔵さんの2代目はアイデアマン。前店街の会長もしながら、街を売り出そうと知恵を絞ります。

大庄 明子 さん (62) ▶P16

紙前の高層マンションで一人暮らしの大庄さん。保育士だったキャリアを活かして、定年退職後は地域で大活躍。

常松 将人 さん (22) ▶P23

就職をきっかけに一人暮らしを始めたばかりの将人さん。社会人として地域での何かの役に立とうと始めた活動は…

常松 泰造 さん (46) ▶P18-19

市内の病院に勤めるお医者さん。予防医療に熱心に取り組み、尼崎の健康づくりに一役買います。

常松 幸恵 さん (45) ▶P19

子育ても落ち着き、何かはじめてと近所の大学の公開講座を見ても多彩なメニューにびっくり。どれに行こうか迷っています。

常松 晃司 さん (19) ▶P27

映像の専門学校に通う晃司さんは、尼崎の魅力を伝えようとのCMを製作する文化系男子。

常松 ゆき さん (16) ▶P27

地元の高校に通うゆきさんは、ラジオ番組のコンクールで賞をもたらしたことも。夢はアナウンサーです。

猪名寺 哲也 さん (56) ▶P17-22

職人としての腕は日本一。全国から注文が殺到する町工場の経営者ですが、家族想いで妻や娘たちにはデレデレです。

猪名寺 恵子 さん (50) ▶P13

食事の宅配のパートで地域を走りまわるかたわら、独居高齢者の見守り活動もはじめることになりました。

猪名寺 まどか さん (26) ▶P20

大阪の医療機器メーカーに勤めるまどかさん。母の仕事を見ていて地域に役立つ新しい仕事を思いついたみたいです。

猪名寺 のぞみ さん (21) ▶P21

シューカツ中の大学生。「職種ももちろん大切だけど、生まれ育った地元で働きたい」と尼崎愛があふれています。

栗山 直人 さん (32) ▶P20-22

「若い頃はかなりヤンチャした」という直人さんは高校卒業後、旋盤職人に。キャリア14年。今は職場のリーダーです。

栗山 拳士郎 さん (7) ▶P12-28

サッカー教室に通う小学2年生の拳士郎さん。夢は「尼から世界へ」なんだとか。

栗山 京子 さん (24) ▶P12-28

地元の先輩、直人さんと結婚したのは18才。若いママとして二人の子育てとパートに大忙しです。

栗山 樹里 さん (4) ▶P12-16

ママがお仕事の時間には近所のばあばのおうちでお留守番。商店街に連れて行ってもらうのが一番の楽しみ。

西川 賢一 さん (35) ▶P18-23

妻と犬と暮らす賢一さん。最近マンションを買ったばかり。

西川 幸子 さん (35) ▶P18-23

結婚を機に尼崎にやってきた幸子さん。毎日の犬の散歩で、近所にも顔見知りが増えました。

神崎 みどり さん (44) ▶P15-22

高齢者介護施設で働くみどりさん。女手一つで長男の勇人さんを育ててきました。

神崎 勇人 さん (13) ▶P22

中学2年生の勇人さんは、忙しく働く母親を支えるため家事もしながら、学校に通っています。

長洲 花子 さん (75) ▶P12-14

市営住宅に一人暮らし。近所の友だちにさそわれて訪ねた公民館で見つけたのは…

塚口 舞 さん (34) ▶P12

神戸で看護師として働く塚口さんは在日コリアン。文化交流活動として韓国語を学ぶサークルを作りました。

船出 美津子 さん (65) ▶P10-21

長男との2人暮らし。体調を崩し、生活保護を受けるようになりましたが、身体を治してまた元気に働きたいと思っています。

船出 秀吉 さん (40) ▶P10-21

不景気で、秀吉さんも就職先が見つかりませんが、落ち込んでいる暇はない、と新しい挑戦をはじめます。

時友 昇 さん (54) ▶P24-26

3世代で暮らす時友一家の大黒柱。働き盛りで多忙な毎日過ごしながらも、休日の庭いじりに癒されています。

時友 悦子 さん (48) ▶P15-26

「方々で有名なお子さん。毎年庭一面のバラで近所の人を楽しませます。

時友 慎之介 さん (21) ▶P19

父が働き盛りなら、長男は遊び盛りの大学生。サークルにバイトに飲み会に、と多忙な日々を送っています。

時友 寿子 さん (78) ▶P15-26

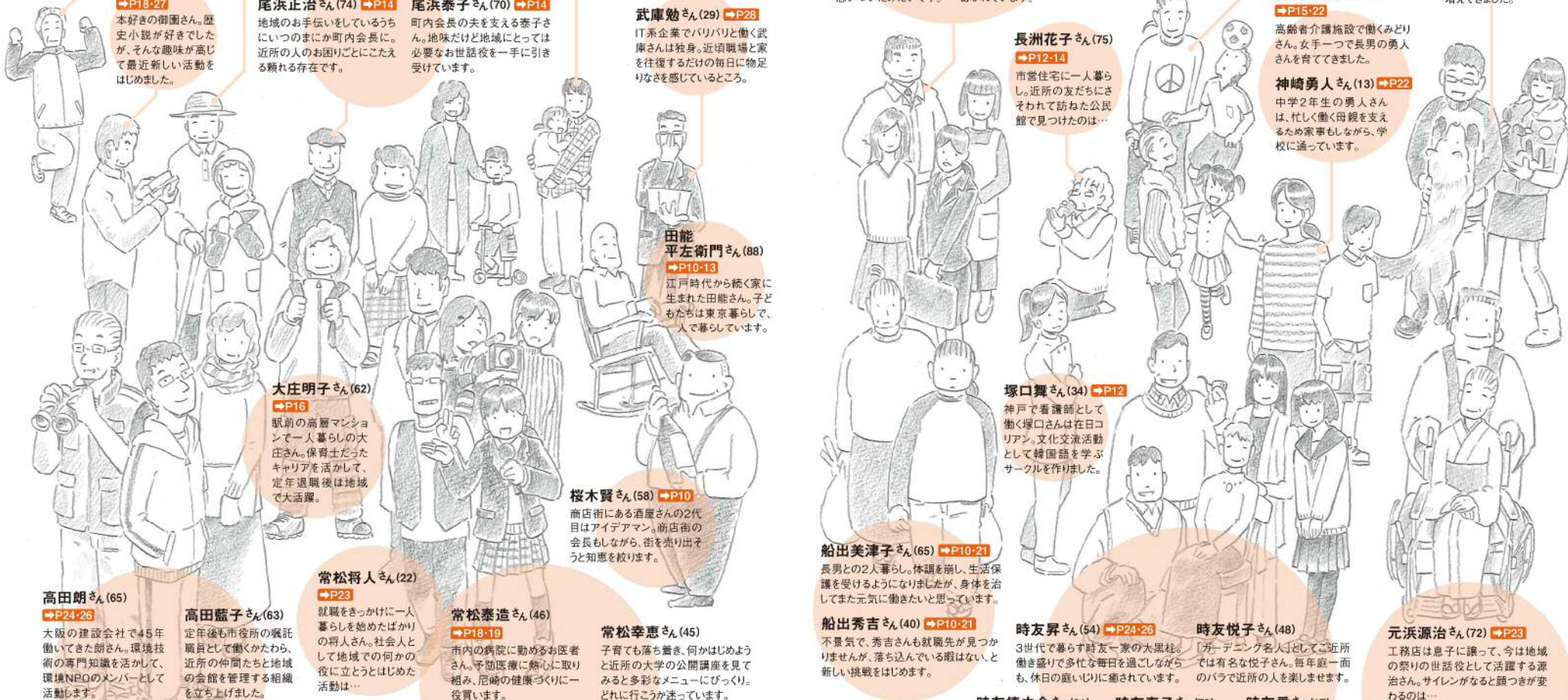
「いくつになっても健康でいたい」と食事にも気を使っている。運動にはげむ寿子さんが、最近気になるのは…

時友 愛 さん (17) ▶P15-26

毎朝通学で歩く深川河川敷で最近新しい友だちができました。

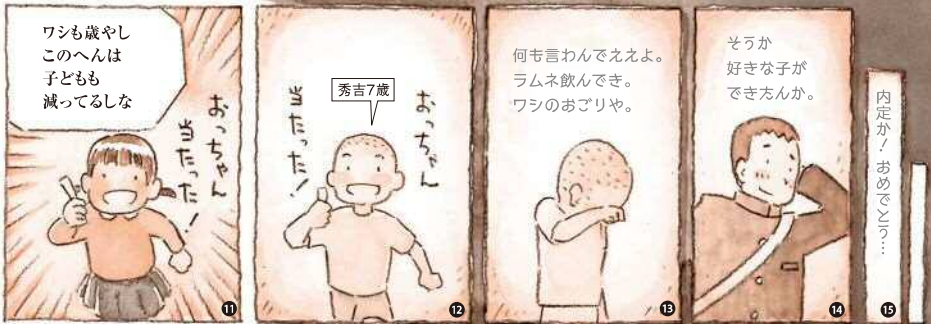
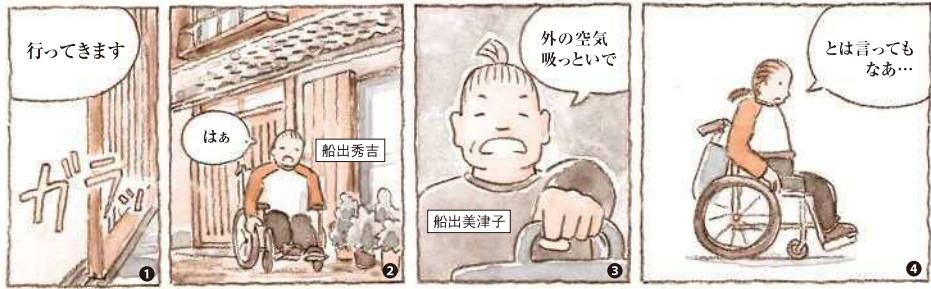
元浜 節子 さん (68) ▶P15

地域の世話に走り回る夫を見て節子さんも「それなら私も」と福祉ボランティア活動に取り組んできました。



「ボクじゃダメですか」

船出秀吉さんは職業訓練校で資格を取り、介護施設で働き始めた。だが、仕事に生き甲斐を覚え始めた頃、交通事故に遭い、車椅子での生活となる。気持ちはなかなか前向きになれない。ある日、母に頼まれて商店街へ行った秀吉さんは……。



総合計画では、市民、事業者、行政が、まちづくりを進めていく上で共有する、将来の「ありたいまち」の姿を4つのテーマで表現しています。この読本では、それらがよくわかる物語をマンガ化しています。登場人物はみんな尼崎に「いそな」人ばかり。あなたやあなたのそばの人を想像しながら、ぜひ読んでみてください。

「ちゃんと見ているよ」

長洲花子さんは団地でひとり暮らし。夫に先立たれ、千葉にいる娘は多忙であり帰省できないが、花子さんは寂しくはなかった。ご近所との関係も良好、公民館での習い事も楽しく、毎日が充実していたからだ。そんなある日……。



ありたいまち 1
人が育ち、互いに支えあうまち
未来を担う人材が育ち、子育てや介護、防犯といったくらしの色々な場面で、幅広い年代・立場の人が互いに支えあうことができる、人と人との豊かなつながりがあるまちでありたい。お互いが見守り見守られ、拳士郎さんを見守っていた花子さんも、実は見守られていたんですね。

猪名寺恵子さんのお話

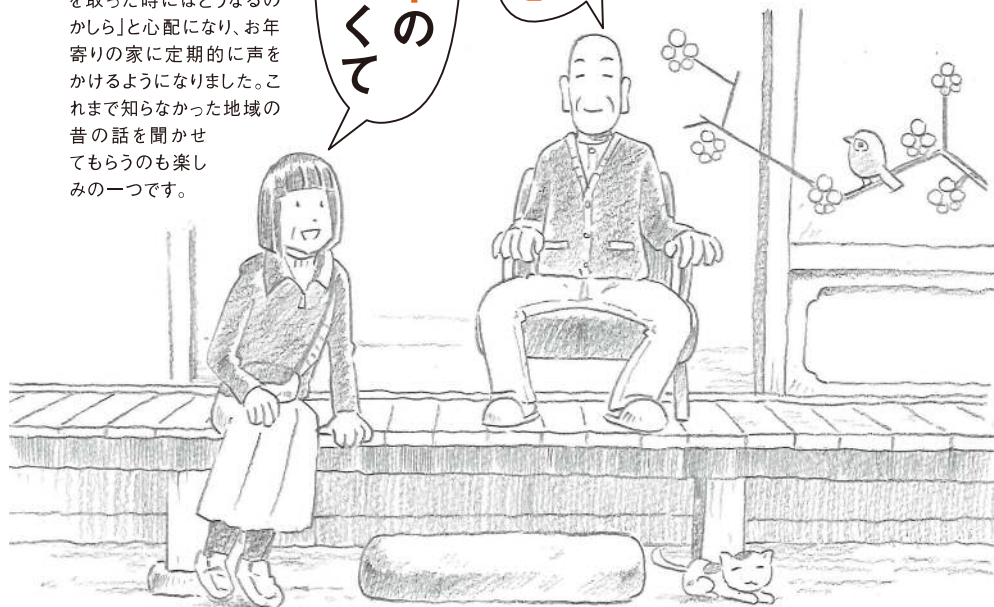
宅配のパートをするうちに、一人暮らしの高齢者がまちにたくさんいることを知った恵子さん(50)。「私が年を取った時にはどうなるのかしら」と心配になり、お年寄りの家に定期的に声をかけるようになりました。これまで知らなかった地域の昔の話を聞かせてもらうのも楽しみの一つです。

まちの大先輩の話が楽しくて

近所の人がいるから安心

田能平左衛門さんのお話

東京で働く息子からは一緒に暮らそうと言われていますが、住み慣れた尼崎を離れるのは田能さん(88)にとっては難しいようです。高齢での一人暮らしを心配する息子たちを「近所の人が毎日声をかけてくれるから大丈夫や」と安心させています。



総合計画キーワード 6

「地域福祉」って？

つまり…「誰もが地域でその人らしく暮らせる福祉のまちに」ってこと。

そのために…

市民や事業者ができること

- 住民がお互いに顔の見える関係を作ろう
- 身近な地域の生活・福祉課題の解決に取り組もう
- 地域で助けの必要な人がいないか気をつけよう
- 事業者も地域の課題解決のため地域住民と協働しよう

市役所が取り組むこと

- 支えあいをはぐむ人づくり
- 市民や多様な主体の参画と協働による地域づくり
- 誰もが安心できるくらしを支える基盤づくり

総合計画キーワード 7

「高齢者支援」って？

つまり…「高齢者が地域で安心して暮らせるまちに」ってこと。

そのために…

市民や事業者ができること

- いきいきと社会参加ができるよう健康づくりに取り組もう
- 支援が必要ななどの、地域生活の安心を支えよう
- いくつになっても地域に積極的にいかかわろう
- 高齢者の持つ技術が活かされるような機会を増やそう

市役所が取り組むこと

- 健康づくり・介護予防の推進、社会参加の促進
- 福祉サービスの充実と地域の支えあいや相談支援の基盤づくり

地域へのせめてもの 恩返しです

尾浜正治さんと 尾浜泰子さんのお話

正治さん(74)と泰子さん(70)のご夫婦は地域のお世話で大忙し。定年後から地域の清掃やもちつき大会などに積極的に参加し、いつのまにか町内会長に。もともと社交的だった泰子さんも婦人会の活動として公園清掃に熱心です。「若い人にもっと参加してもらいたい」と魅力のある活動に知恵を絞っています。



趣味を通じて いろんな仲間が



長洲花子さんのお話

阪神沿線の団地におひとり暮らしの花子さん(75)。2年前から、家の近くの公民館でフラダンス教室に通っています。ずいぶん上達して、初心者には花子さんが先生役で教えることもあるんだとか。「フラダンスは体でできるコミュニケーション。年齢も性別もいろんな友達ができたんですよ」と楽しさを語ります。

毎日続けるのが大切なのよ

竹谷梅子さんのお話

64才で大きな病気をして以来、竹谷さん(79)はウォーキングを日課にするようになりました。毎日藻川の河川敷を1時間かけて歩きながら、顔見知りや声をかけあいます。「季節の移り変わりが感じられるのよ」と健康づくりだけじゃない楽しみを見つけました。



おばあちゃんから 元気をもらうの

時友愛さんのお話

河川敷を歩いて通学する愛さん(17)は、毎朝同じ時間に元気なおばあちゃんに出会います。あいさつをするうちに仲良くなって、今度の週末には一緒にウォークラリーに参加することになりました。

神崎みどりさんのお話

高齢者デイサービスの送迎に市内を走り回るみどりさん(44)。「わしがあと30才若かったらなあ」とおじいちゃんたちのアイドルなのです。

自分の趣味が だれかの喜びに

元浜節子さんのお話

ボランティアセンターで節子さん(68)が見つけた講座は「布の絵本づくり」。洋裁が得意だったこともあり、その魅力にとりつかれ、今では介護施設や障害者作業所のレクリエーションの講師として活躍しています。



お年寄りの
元気な顔が
見たいから

総合計画キーワード ①

「地域コミュニティ」って?

つまり…「みんなの支えあい
地域が元気なまちに」ってこと。

そのために…

- | | |
|--|---|
| <p>市民や事業者ができること</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 近所づきあいを大切にしよう ● シチズンシップを高め、地域への愛着をはぐくもう ● 身近な地域の課題を考えよう ● 自らがまちづくりの主体であることの自覚を持つ | <p>市役所が取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域分権型社会に向けた取組 ● 地域コミュニティの形成のための支援 ● 地域コミュニティ活動を担う人材の育成 |
|--|---|

総合計画キーワード ⑤

「人権尊重・多文化共生」って?

つまり…「互いの人権を尊重し、
ともに生きるまちに」ってこと。

そのために…

- | | |
|--|--|
| <p>市民や事業者ができること</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人権にかかわる学習会や活動に参加しよう ● 人権問題を自分自身の課題として考えよう ● 人権や個性を尊重しよう ● 性別に関係なく自分らしく活動しよう ● 働きやすい環境を作ろう | <p>市役所が取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多文化共生社会の実現 ● 男女共同参画社会の実現 ● 人権問題の啓発と人権教育の取組 ● 人権侵害の防止と被害者への支援 |
|--|--|

総合計画キーワード ⑧

「障害者支援」って?

つまり…
「障害のある人が地域で
自立して暮らせるまちに」ってこと。

そのために…

- | | |
|--|---|
| <p>市民や事業者ができること</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 障害のある人への理解を深めよう ● イベント等を通じて障害のある人と交流しよう ● 障害のある人の立場になって支援をしよう ● 障害のある人の雇用をすすめよう ● 障害の特性やニーズに応じた支援をしよう | <p>市役所が取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日常生活の支援の充実と権利擁護 ● 相談体制の充実とネットワークの構築 ● 日常生活での交流の支援 ● 社会参加の促進 ● 働く場の確保 |
|--|---|

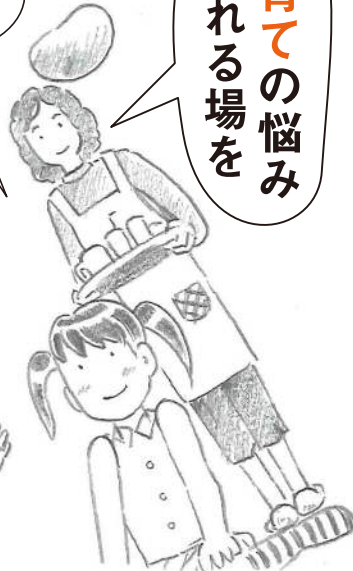
孫との時間が
楽しくて



ばあばの家で
お留守番

おうちにいる
より楽しい

子育ての悩み
語れる場を



富松桃子さんのお話

専業主婦の桃子さん(35)は昨年ママ友と地域の子育て広場を立ち上げました。色々な悩みを話せる仲間ができて、ママの輪が広がりつつあります。

大庄明子さんのお話

昨年定年退職を迎えた明子さん(62)の今の楽しみは、娘の京子が働いているあいだ、孫の樹里を家で預かること。地域の子育て広場では、昔遊びを教えたり、若いママの悩みを聞いたり、頼れるばあばなのです。

富松千尋さんのお話

毎週水曜日には商店街でやっている子育て広場にママと通う富松千尋さん(3)。保育園には通っていないけれどお友だちがたくさんできたみたい。

栗山樹里さんのお話

ママがお仕事に行っている間、近所に暮らすばあばのおうちでお留守番する樹里さん(4)。商店街の子育て広場に行くのも楽しみ。

総合計画キーワード ④

「子ども・子育て支援」って?

つまり...

「健やかに子どもが育ち、
笑顔が輝くまちに」
ってこと。

そのために...

市民や事業者ができること

- 子どもが安らぐ家庭を作る
- 必要な健診や予防接種を受けるよう努めよう
- 出産などの困り事を気軽に相談できる環境を作る
- 地域で子どもが安心して暮らせる環境づくりに努めよう
- 事業者も子育てを応援しよう

市役所が取り組むこと

- 安全・安心に産み育てることができる家庭環境づくりの支援
- 保育事業、放課後児童対策等による支援
- 支援を必要とする子ども・家庭への支援
- 子どもの主体的な学びや行動への支援



ものづくりの面白さを
子どもたちに

猪名寺哲也さんのお話

市内で町工場を経営する猪名寺哲也さん(56)の会社では、毎年地元の小学校から社会科見学を受け入れています。最近「理科離れ」などよく言われる中、ものづくりの街として次世代の育成に熱心です。

尼崎の工場ってすごい

富松信一郎さんのお話

今年5年生になった信一郎さん(10)。学校の授業で、近くにある工場を見学しました。これまで見たこともない大きな機械や一生懸命働く大人の姿にかっこよさを感じた一日でした。

意外と楽しい
地域デビュー



富松竹彦さんのお話

阪急沿線に暮らす1男1女の父・富松竹彦さん(36)は息子信一郎さんの通う学校のPTA活動に今年から参加することになりました。ちょっと早起きして町内会の人たちと一緒に登校の見守り活動をするうちに、これまであまり知らなかった地域の人のつながりができました。

総合計画キーワード ③

「学校教育」って?

つまり...

「教育の充実で子どもの
生きる力をはぐくむまちに」
ってこと。

そのために...

市民や事業者ができること

- 子どもの学習や成長に関心を持つ
- 子どもが健やかに育つ地域環境を整えよう
- 子どもに基本的な生活習慣・食習慣を身に付けさせよう
- 地域全体で子どもを見守ろう
- 地域全体で子どもにかかわろう

市役所が取り組むこと

- 教育・学習内容の充実、子どもの健康な体づくり
- 心のケア、心の教育の充実
- 家庭・地域・学校の連携推進
- 安全な教育環境の確保

「まちを歩けば」

御園篤史さんは営業職。お仕事柄、お酒を飲む機会も多く、食事でも不規則。休みの日は、大好きな歴史小説を読みながらゴロゴロするのが至福の時。おかげで体重は増える一方。そんな時、健康診断の結果を聞きに病院へ行ったら……。

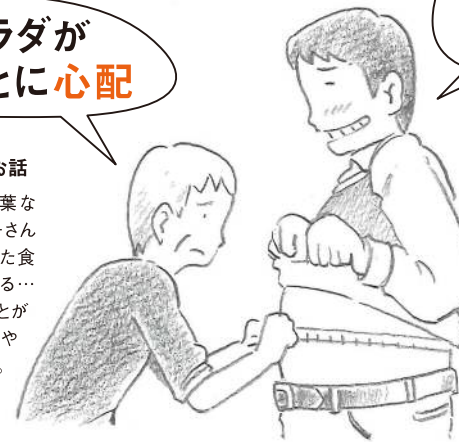


ありたいまち2 健康、安全・安心を実感できるまち
生涯にわたり社会に参画できるように、市民一人ひとりが健康であるとともに、安心して生活できる環境が地域の支えあいなどにより実現しているまちでありたい。運動不足解消にはじめたウォーキングをきっかけに、御園さんはまちの魅力を発信するボランティアガイドになったそうですよ。

孫のカラダがほんとに心配

時友寿子さんのお話

「昔はメタボなんて言葉なかったのよ」という寿子さん(78)。バランスの取れた食生活、よく噛んで食べる…昔は当たり前だったことが失われつつあって、子や孫のカラダが心配です。



健診、毎年受けとこうかな

時友慎之介さんのお話

子どもの頃から野菜は苦手、ジュースとお菓子が大好きな慎之介さん(21)。お父さんが糖尿病だし、心配で、初めて健診を受けてみたら中性脂肪や血糖が基準値を超えていてびっくり。保健指導で、日頃の生活習慣の課題がわかりました。これは生活改善しなくちゃ。

おチュウシャがまんできるよ

富松千尋さんのお話

3歳児健診がすんだ千尋さん(3)。今日は予防接種を受けに病院にやってきました。一緒に来たママもお医者さんの勧めもあって、近々がん検診を申込み、受けるつもりです。



予防と早期対応で病気から人を守りたい

常松泰造さんのお話

医師として市民の健康を守る泰造さん(46)。予防接種に来た千尋さんのママに、「がん検診は受けていますか」と声をかけます。受診率を高くして、重症化するのを食い止めようと考えを入れています。

総合計画キーワード 10

「健康支援」って? つまり…「いきいきと健康に安心して暮らせるまちに」ってこと。

市民や事業者ができること

- 健診や保健指導を活用し、自分の健康は自分で守ろう
- 地域で心と体の健康学習機会をもとう
- 事業者も健康づくりをサポートする環境づくりに取り組もう
- 食への関心を深めよう
- 医療保険制度の制度理解と適正利用に努めよう

そのために…

市役所が取り組むこと

- ヘルスアップ尼崎戦略の推進
- 団体、事業者とともに進める健康環境づくりの推進
- 感染症の発生予防及びまん延防止対策の推進
- 健康回復や療養のための支援等
- 地域医療体制・健康危機管理体制の確保

- 食品・環境などの衛生面の体制確保
- 医療保険制度の適切な維持・健全運営

「地域経済の活性化 ・雇用就労支援」って？

つまり…

「地域経済の発展により、活力があふれ、
いきいきと働けるまちに」ってこと。

そのために…

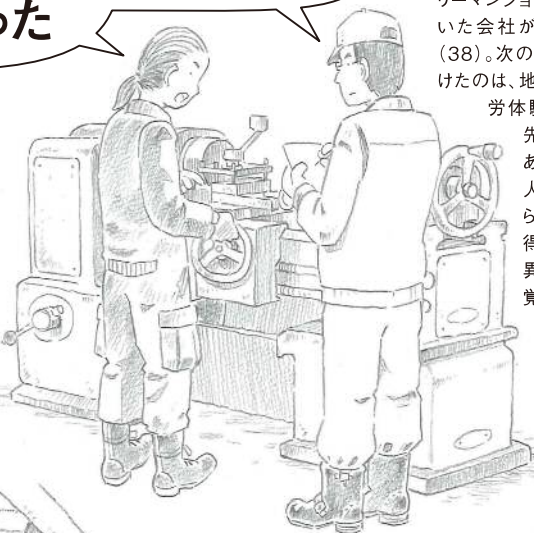
- 市民や事業者ができること**
- 日常の買物や外食が産業と関係していることを知る
 - 自然環境・近隣環境に配慮した事業活動を行う
 - 地域経済や地域づくりに関心を持つ
 - 所有資産活用等を行い雇用機会の拡大に努めよう
 - 従業員のキャリアアップ等を支援しよう

- 市役所が取り組むこと**
- 産学公融等によるイノベーション促進支援
 - 地域に根ざす産業集積支援 ● 企業の魅力発信支援
 - 働きやすさ・スキルアップによる定着促進と人材活用の支援
 - 起業促進支援

新しい仕事のやりがいに 出会った

栗山直人さんのお話

工業高校を卒業してから14年。経験を重ねて一人前の旋盤工として、後輩の指導にあたる直人さん(32)。長引く不況ながら、直人さんの技術と新人の新たな発想を活かして、「世界一の製品を作ろう」と熱く夢を語ります。



高田康宏さんのお話

リーマンショックの影響で勤めていた会社が倒産した康宏さん(38)。次の仕事を探そうと見つけたのは、地元の町工場での就労体験でした。もともと手先が器用だったこともあり、年下の先輩職人に教えてもらいながら旋盤の技術を習得。前職とはまったく異なる、やりがいに目覚めたのでした。

地域のために、 をビジネスに

猪名寺まどかさんのお話

高齢者の見守り活動をする母の話聞くうちに、あるアイデアを思いついたまどかさん(26)。料理好きの友だちと週末だけのビジネスをはじめました。市場や商店街で余った食材で1週間分の冷凍おかずを作り、普段出歩けないお年寄りに手頃な価格で届けるサービスです。今は売上よりも「いつもありがとう」の言葉が嬉しいのだとか。

やっぱり 地元で就職したい

猪名寺のぞみさんのお話

シューカツ中ののぞみさん(21)は「大好きな地元で働きたい」と市内で開かれている職業体験に参加することにしました。色々話を聞くと、尼崎には、誰も知っている会社じゃないけれど業界では知る人ぞ知る存在、という会社がたくさんあって「やっぱり尼崎ってすごいな」と嬉しくなったのでした。

親子で出発。 新たな一歩

船出美津子さんと 秀吉さんのお話

これまで、なかなか仕事が見つからなかった秀吉さん(40)。母の美津子さん(65)との暮らしを支えよう、と頑張ります。職種の幅をひろげるために、職業訓練に通ってみることに。

「生活支援」って？

つまり…

「生活に課題を抱える人が
安心して暮らせるまちに」ってこと。

そのために…

- 市民や事業者ができること**
- 普段から相談先や相談方法などについて関心を持つ
 - 地域のつながりを大事にしよう
 - 生活に課題を抱える人の自立をともに考えよう
 - 就労体験等の取組に協力しよう

- 市役所が取り組むこと**
- 幅広い支援に向けた連携
 - 生活困窮者自立支援制度による就労等自立の支援
 - 生活保護の適正運営と自立支援

「下町ロボット」

中学2年生が職業体験をする「トライやる・ウィーク」の季節がやってきた。希望の職種ではない、工場に行くことになった神崎勇人さんは憂鬱だ。将来の職業として、ものづくり業界は考えたこともなく、興味もなかった。でも、実際に行ってみると……。



ありたいまち3 これまで培われてきた多様な歴史・文化資源、産業集積、地域の人材等を活かし、新たな活力を創造していく、そしてこれらの魅力を発信することで、「あまがさきのよさ」が知られ、市民であることを誇りに思えるまちでありたい。勇人さんもあまがさきの「ものづくり」のすごさに触れたようですね。将来の「ものづくり達人」の誕生秘話となるのでしょうか。

自分のまちは自分で守る

元浜源治さんのお話

建設現場の高所作業やチカラ仕事でならした源治さん(72)。先輩の職人に誘われ20代で地域の消防団に入り、「自分のまちは自分で守る」と以来50年近く活動してきましたが、そろそろ引退することに。最近では女性団員も増えて頼もしい限りです。



常松将人さんのお話

3年前に家の近所で火事があった時に、消防車が来る前から活動をはじめた消防団の姿に感動した将人さん(22)。子どもの頃の夢が消防士だったことを思い出し「自分もその一員になりたい」と入団を決めました。

地域の「一員」として
デビュー

総合計画キーワード 11

「消防・防災」って? → つまり…「消防・防災体制が充実した安全・安心のまちに」ってこと。

そのために…

市民や事業者ができること

- 食料等の備蓄や非常用持出袋を準備しよう
- 住宅用火災警報器等を設置しよう
- 自主防災活動に参加・協力しよう
- 地域で普段から避難訓練をしよう
- 救急救命の知識などを習得するため、救命講習等に参加しよう

市役所が取り組むこと

- 消防・救急・救助体制の充実
- 消防施設等の整備・充実
- 防災対策の充実
- 市民・事業者における火災予防等
- 地域における防災体制の充実支援

犬の散歩が地域の防犯になるなんて

西川賢一さんと幸子さんのお話

賢一さん(35)幸子さん(35)夫妻は毎日愛犬の散歩に出かけます。首からストラップを付けて散歩をする人が多いことに気づいた賢一さん。調べてみると地域の防犯に協力する「尼崎ウォーキングパトロール隊」と分かり早速申し込みました。犬の散歩をしながら地域の安全・安心を守る一石二鳥のアイデアは驚きです。



総合計画キーワード 12

「生活安全」って? → つまり…「生活に身近な安全・安心を実感できるまちに」ってこと。

そのために…

市民や事業者ができること

- 日常生活で防犯を意識しよう
- 自転車等を安全・安心・快適に利用しよう
- 自転車などの交通ルールを守ろう
- 賢い消費者になろう
- 地域で消費者被害から高齢者等を見守ろう

市役所が取り組むこと

- 防犯力の高い地域コミュニティづくり
- 交通安全対策の推進
- 自転車総合政策の推進
- 安心できる消費生活を実現する環境づくり



きれいな川で
遊んだ思い出



時友昇さんのお話

昇さん(54)の暮らす地域は閑静な住宅街。祖父が建てた自宅は今では珍しい日本家屋で周辺の雰囲気にとってもマッチしています。「素敵なおうちですね」とほめられるうちに、まちの景観づくりにも興味が出てきました。近所の人と建築や景観や防災のルールについての勉強会を計画中です。

素敵な町並みを
守りたい

総合計画キーワード 15

「環境保全・創造」って?

つまり…「環境と共生する
持続可能なまちに」ってこと。

そのために…

市民や事業者ができること

- 環境に配慮した買物をしよう
- 省資源・省エネルギーに取り組もう
- ごみの発生・排出をおさえよう
- 安全で快適な生活環境の保全に取り組もう
- 身近な自然や生き物を大切にしよう

市役所が取り組むこと

- 環境保全・創造に向けた活動の支援とネットワーク形成
- 地球温暖化問題への対応
- 循環型社会の形成 ● 生活環境の保全
- 自然環境・生物多様性の保全創出

高田朗さんのお話

建設会社で長い間河川工事にもかかわってきた朗さん(65)。年を取るにつれ、これまで気にしたこともなかった自宅近くを流れる藻川の自然に興味が出てきました。「昔は川や自然林でよく遊んだ」という昔話を復活させようと、町内会や環境活動に取り組む仲間たちと河川清掃をイベントにしました。



花があふれる
まちに

大島芳枝さんのお話

お花が大好きな芳枝さん(60)。ご近所の方とボランティアで公園に花壇をつくり、訪れる人に花を楽しんでもらっています。普段の清掃や維持管理もまかされるようになり、今では表彰されるほど立派な公園になりました。

総合計画キーワード 16

「住環境・都市機能」って?

つまり…「安全・安心、快適で
くらしやすいまちに」ってこと。

そのために…

市民や事業者ができること

- 魅力的な景観やまちなみを作る
- 地域のまちづくりのルールを考えよう
- 道路や側溝の掃除をしよう
- 良質な住宅の供給や住まいに関する情報の共有に努めよう
- まちに関する各種制度の活用や条例・規則を知ろう

市役所が取り組むこと

- 市民主体のルールづくりや規制・誘導による、良好な住環境や安全空間の創出と継承
- 市民が地域の住環境に関心を持ち、誇りや愛着を持てる活力のある美しいまちづくりに取り組める環境づくり
- すべての人が快適に安心して住み続けられる住環境の確保
- 公園緑地・住宅等の維持・整備・更新
- 都市基盤の整備・維持による安全で快適なまちの創出
- 適切な維持管理によるライフサイクルコストの低減

「いつかこの川で」

時友愛さんの通学路は河川敷だ。川と草木しかない退屈な道だけど、同居しているおばあちゃんの幼馴染の竹谷梅子さんと会うのが楽しみだから、道を変えるつもりはない。その日も梅子さんは「今度、同窓会するねん」と話をしてくれた。帰宅した愛さんがおばあちゃんの部屋に行くところ……



ありたいまち4
次の世代に、よりよい明日をつないでいくまち

私たちが受け継いできた自然環境や人材、都市基盤等の市民生活を支えている財産や資源を、次の世代に引き継いでいくための課題、市民、事業者、行政が共有し、ともに解決に向けて継続して取り組んでいくまちでありたい。愛さんの子どもたちに、よりよいまちを引き継いでいきたいですね。

タイムスリップしたみたいでしょ



御園篤史さんのお話

11ものお寺が集まる寺町を案内するボランティアガイドの御園さん(63)。「ガイド講座で勉強すればするほど、このまちのことが誇らしく思えてくるんです」と尼崎城や秀吉ゆかりのお寺の逸話をお客さんに解説しています。

常松晃司さんとゆきさんのお話

「イメージが悪い」と言われるのがやしくて、常松晃司さん(19)・ゆきさん(16)はこのまちの魅力を伝える映像をインターネットで流そうと番組づくりをはじめました。取材するのは、運河でのイベント。「いつかこのまちを舞台に映画が撮りたい」と兄妹の夢はふくらみます。

このまちをもっとアピールしたい

総合計画キーワード 14

「魅力創造・発信」って?

つまり…
「歴史や文化を守り活かし、人をひきつける魅力があふれるまちに」ってこと。

そのために…

市民や事業者ができること

- さまざまな芸術体験等を通じて文化の大切さを理解しよう
- 身近なまちの魅力を自ら市内外へ発信しよう
- 子どもたちに地域の歴史を伝えよう
- 訪日外国人との交流等に努めよう
- 尼崎ならではの商品やサービスを作ろう

市役所が取り組むこと

- シビックプライドの醸成
- 観光地域づくりと市内外の交流促進
- 新たな魅力づくりによる文化振興
- 歴史遺産等の保存と活用

週末に
新しい楽しみ
ができた

栗山拳士郎さんのお話

小学2年生になった拳士郎さん(7)は、地域のおじさんが教えてくれる地域のサッカー教室に通っています。年末にはもちつき大会があったり、行事もたくさんあって年上や年下の友だちもたくさんできました。夢はプロ選手。「世界で活躍して、尼崎にでっかい豪邸を建てるねん」と家族を喜ばせてくれます。



夢も友だちも
たくさんできた

武庫勉さんのお話

大阪のIT系企業に勤める武庫さん(29)。ひとり暮らしで週末は家で寝てばかりでしたが、大家さんの誘いで地域のサッカーコーチを引き受けることに。



栗山京子さんのお話

長男が通うサッカー教室のお世話をするうちにママ友がたくさんできた京子さん(24)。みんなで地域バザーに出店するなど、息子に負けず楽しんでます。

ママだって
負けてない

総合計画キーワード ②

「生涯学習」って?

つまり...
「生涯を通して学び、
スポーツに親しめるまちに」
ってこと。

そのために...

市民や事業者ができること

- 自ら学ぶ気持ちを大切にしよう
- 学習の成果を地域で活かそう
- 市民学習グループ間の交流・連携を大切にしよう
- スポーツ活動を通じて健康増進などに取り組もう
- 事業者も地域活動に参加しよう

市役所が取り組むこと

- 生涯学習活動の支援と成果の活用・人材育成・交流の推進
- 公共施設・地域資源等の活用による学習支援
- 運動やスポーツによる市民の健康づくり

この本ができるまで ～まちの計画を市民で点検

この読本で紹介している「尼崎市総合計画」は、平成25年度(2013年度)からの10年間で、尼崎市がめざす「ありたいまち」の姿を示した「まちづくり構想」と、実現への具体的な施策を示す「まちづくり基本計画」で構成されています。

基本計画は時代の変化に対応するため、5年ごとに前期と後期に分かれていて、平成30年度(2018年度)からの5年間の計画として「後期まちづくり基本計画(後期計画)」

を策定しました。

後期計画の策定にあたり、「総合計画市民懇話会」という会議に集まった20名の市民で、これまでの前期計画を点検しました。「市民や事業者が取り組んでいくこと」について話し合い、その内容を反映しています。

この読本は、その「総合計画をもっと多くの市民に知ってもらいたい」という思いから、作りました。

未来に向けた新たな取組

前期計画からの5年間。すでに尼崎市では未来の「ありたいまち」に向かってこんなプロジェクトが始まっています。



平成25年に国から「環境モデル都市」に選定されました。臨海地域における「尼崎21世紀の森構想」や「尼崎版スマートコミュニティ」の推進など、経済と環境が共生するまちへの取組を進めています。

みんなの 尼崎大学

Univer City of Min'n'a Amagasaki

「みんなが先生、みんなが生徒、どこでも教室」をモットーに、平成29年に開学したまち全体を大学に見立てたプロジェクト。学びを通じて地域を支える人材が育まれる環境づくりに取り組んでいます。



尼崎市自治のまちづくり条例

自治のまちづくりの基本理念をはじめ、市民、事業者、行政など、まちづくりに関わる者の権利や責務・役割など、住民自治の推進に必要な事項を定めた条例で、平成28年に制定されました。



平成30年度に、尼崎市発祥の地である城内地区に尼崎城が再建されます。これをきっかけに、尼崎の歴史や地域の魅力をたくさんの人が知り、体験できるような「観光地域づくり」が始まっています。

ところで、「総合計画」って何？

まちづくりを進めていくための、基本的な方針が書かれた長期計画を「総合計画」と呼びます。

現在、尼崎市では平成25年度からの10年間を期間とする総合計画に沿って、「ひと咲き まち咲き あまがさき」をキャッチフレーズに、まちづくりを進めています。市民や事業者のみならずと力をあわせて、尼崎の未来を作っていきたいと考えています。市役所もしっかりと生活や活動を支えていきます。

**はじめてみませんか？
身近な「まちづくり」**

パンフレットに登場する45人のように、尼崎でくらす人、はたらく人、尼崎のまちにかかわる一人ひとりができることの延長に「まちづくり」はあります。尼崎をよりよいまちに、みんさん自身の「ありたいまち」に向かって、身近なところ、興味のあるところから、何かはじめてみませんか。



もっと詳しく尼崎の計画を知りたい方は…

尼崎市企画財政局
政策部政策課まで
お問い合わせください。
☎06-6489-6138
ホームページでも
ご覧いただくことができます。